訴　　　　状

平成○年○月○日

○○地方裁判所民事部　御中

　　　　原告訴訟代理人弁護士　　　甲　　　野　　　太　　　郎　印

　　〒○○○－○○○○　東京都△△区□□○丁目○○番○号

　　　　原　　　　　　　　告　　　甲　　　山　　　一　　　郎

〒○○○－○○○○　東京都○○区××○丁目○番○号□□ビル○階

　　　　　　　　　　　　甲野法律事務所（送達場所）

　　　　上記訴訟代理人弁護士　　　甲　　　野　　　太　　　郎

　　　　　　　　　　　　　電　話　０３－○○○○－○○○○

　　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ　０３－○○○○－○○○○

　　〒○○○－○○○○　東京都△△区□□○丁目○番○－○○○号

　　　　　　　　被　　　　　　　　告　　　乙　　株　　式　　会　　社

上記代表者代表取締役　　　乙　　　川　　　次　　　郎

地位確認等請求事件

　訴訟物の価額　　　○○万円

　貼用印紙額　　　　　○万円

第１　請求の趣旨

１　原告が，被告に対し，労働契約上の権利を有する地位にあることを確認する。

２　被告は，原告に対し，○○円及び平成△年△月△日から本判決確定の日まで，毎月□□日限り月額××円の割合による金員並びにこれらに対するそれぞれ支払期日の翌日から支払済みまで年６％の割合による金員を支払え。

３　訴訟費用は被告の負担とする。

４　第２項につき仮執行宣言

第２　請求の原因

１　当事者

被告は○○等を目的とする会社であり，原告は平成○年○月○日から被告会社に勤務していた者である。

２　雇用契約の締結と内容

原告は，平成○年○月○日，被告会社との間で，下記の条件で雇用契約を締結し（甲１），これまで勤務してきた。

ア　基本給○○万円

イ　毎月２５日締め，同月末日払

ウ　契約期間１年間

３　雇用契約の更新

上記２の雇用契約は３回更新され，原告は合計４年間にわたって被告会社に勤務してきた。

４　被告による雇い止めの表明

被告会社は，平成○年○月○日，同年３月末日付で原告との雇用契約を打ち切る旨，告知してきた。

５　雇用契約が継続していること

本件雇用契約においては契約期間１年とされていたものの，３回にわたって更新されてきており，実質的には期間の定めのない雇用契約にほかならない。

かような状況下にあっては，原告が雇用継続の期待を持つことが合理的であるから，被告会社による一方的な雇い止めは無効である。

６　賃金額

原告の賃金額は更新の都度増額し，雇い止め告知時点においては基本給○○万円に達していた（甲３）。

７　よって，原告は，被告に対し，労働契約上の権利を有する地位にあることの確認を求めるとともに，未払賃金○○円及び平成△年△月△日から本判決確定の日まで，毎月□□日限り月額××円の割合による賃金並びにこれらに対するそれぞれ支払期日の翌日から支払済みまで年６％の割合による遅延損害金の支払を求める

以上

１　甲１号証　雇用契約書

２　甲２号証　就業規則

３　甲３号証　給与明細書

１　訴状副本　　　　　　　　　　　　　１通

２　甲１ないし３号証（写し）　　　　各２通

３　証拠説明書　　　　　　　　　　　　２通

４　履歴事項全部証明書　　　　　　　　１通

５　訴訟委任状　　　　　　　　　　　　１通